

新たな学校の校歌・校章の作成について

1 基本計画検討会における校歌・校章の作成に向けた検討結果

鶴川西地区の新たな小学校の校歌・校章については、各校の校歌・校章に込められた想いや新たな小学校への想いを踏まえ、作成します。

2022年度に開催した検討会の検討内容を踏まえ、本協議会では統合する2026年度から新たな校歌・校章が使用できるよう、新たな学校開校の半年前の完成を目途に検討を進めることとしました。

2 校歌・校章の作成方法について

(1) 校歌の作成方法について

新たな学校の校歌の作成については、児童や保護者、地域の方々から歌詞や地域のイメージ等のご意見を伺い、その内容を踏まえて作詞及び作曲を下記のパターンで依頼したいと考えています。

(2) 校章の作成方法について

新たな学校の校章の作成については、児童や保護者、地域の方々からものや地域のイメージ等のご意見を伺い、その内容を踏まえてデザイン画の作成作業を下記のパターンで依頼したいと考えています。

他地区や他自治体の作成パターンについて

専門家・大学連携・教員に依頼（委託）をして作成を進めていることが多いです。

Aパターン

専門家（地域にゆかりのある方や著名な方、業者）に依頼しています。校歌や校章の作成について専門家に依頼します。

Bパターン

各自治体で連携を取っている大学等に依頼をしています。町田市の場合、「包括協定」という取り組みがあります。大学等に協力の打診をし、一緒に作成いただける大学の教授や学生に依頼をします。

※包括協定に参加している学校の一覧

青山学院大学・麻布大学・桜美林大学・恵泉女学園大学・国土舘大学・サレジオ工業高等専門学校・昭和薬科大学・玉川大学・多摩美術大学・東京家政学院大学・東京造形大学・法政大学・山野美容芸術短期大学・和光大学

※国土舘大学教育学部から校歌作成について興味があると伺っています。

Cパターン

他自治体では、統合対象校の音楽の教員や図工の教員に依頼している事例がありました。

3 町田市内の他地区制作パターンについて

	校歌作成	校章作成
本町田地区	Bパターン 玉川大学教育学部に依頼	Bパターン 玉川大学芸術学部に依頼
南成瀬地区	Aパターン 業者に依頼	Bパターン 東京造形大学に依頼

両地区とも、児童と作成者の交流をし、授業の一環に取り入れて作成をしています。

4 校歌・校章の作成のスケジュール

年度	2023年度		2024年度											2025年度		
月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
協議会	●			●		●			●		●		●			
作成パターン	A	作成方法検討開始	作成方法検討	作成方法決定	公募準備	公募実施	集計	検討	専門家						完成・練習開始	
	B								大学等との連携 (校章作成は推進協議会にて複数回検討)							
	C								専科教員	検討	専科教員修正					

検討事項①
検討事項②

5 検討事項①：公募方法や条件について

最初のワークショップでは、実施方法や質問項目について、ご意見をいただきます。
※各5分ずつ、計10分程度で対象者や募集方法について自由に意見を述べていただきます。

(1) 校歌について

歌詞に入れたい「単語・フレーズ」を児童や地域の方等から募集する予定です。

(2) 校章について

校章に含みたい「もの・イメージ」を児童や地域の方等から募集する予定です。

他地区で出たご意見

- インターネットに不慣れな方でも回答しやすいようにしてほしい。
- 大人と子どもとで聞き方を変えてほしい。
- 複数案提出も可にして欲しい。
- なぜその案を提出するのかの想いや理由を書けるようにしてほしい。

公募の対象と周知方法案

対象者	周知方法
統合対象校の児童	学校を通じて配付し、授業等で意見募集を実施
統合対象校の児童の保護者	学校を通じて配付
統合対象校の卒業生	卒業生の会等を通じて周知、ホームページ
鶴川西地区の未就学児の保護者	保育園、幼稚園を通じて周知（広報誌等）
鶴川西地区に居住している方	町内会・自治会を通じて周知（掲示等）
上記以外の市民	ホームページ・広報紙

6 検討事項②：作成依頼先について

二つ目のワークショップでは、作成依頼先について、考え方を伺います。

※事務局が考える以外の依頼先があればご提案ください。

※計10分程度で対象者や募集方法について自由に意見を述べていただきます。

他地区で出たご意見

- 教員に依頼すると負担になるのではないかと。異動も考慮しないといけない。
- 作成者には両校の児童に授業をしながら交流して欲しい。
- 学校や地域の雰囲気を感じてもらえるような方に依頼したい。
- 校歌は専門性が求められるので、専門家か大学連携が良い。